

平成 24 年度第 1 回修習セミナー報告

中国本部修習技術者支援委員会

委員 柴崎 恭範

広島県 建設部門



平成 24 年 4 月 21 日（土）に第 3 ウエノヤビル 6 階会議室において第 1 回修習セミナーを開催し、38 名（講師及び委員 12 名含む）の方にご参加いただきました。

セミナーの内容は次のとおりでした。

13：05～14：05 業務経歴を振り返る

森岡 敬士氏（総監・建設部門）

業務経歴を整理することは、あらためて課題解決について考えることもでき、技術士に求められる高等の専門的応用能力向上に有効であるというお話をいただきました。

また、平成 23 年度技術士試験の総括についてもお話いただき大変参考になりました。



【講演の様子】

14：15～15：35 修習体験談

・守谷 佳也氏（建設部門）「モチベーションが上がったり下がったりして大変だったが、セミナーに参加することで乗り越えられた。」

・勝谷 芳生氏（環境部門）「筆記試験の解答は量より質、口頭試験の回答は的確かつシンプルが重要である。」

・宮下 和也氏（電気電子部門）「個人業を営むにあたり、信用獲得が必須となり、技術士資格の取得が最善と考えた。」

・金高 智之氏（建設部門）「たくさんの諸先

輩方に親身な指導を受けることができた。合格を知ったとき、ヤッターというよりホッとしました。」

以上、4 名の合格者の貴重な体験談を少しご紹介させていただきました。

皆さんそれぞれ受験対策は違っていました。が、共通されていたことは、日々、最新の情報収集を行い、技術者として問題意識を持って過ごされていたことであったと思います。

1 年間にわたる長丁場の受験を追体験することで、参加者全員のモチベーションアップにつながり大変有意義だったと思います。

15：45～16：30 グループガイダンス

受験者の方に部門別 5 グループに分かれていただき、受験申込書の記入方法などのアドバイスをを行いました。

少人数のグループになったことで、ざっくばらんに質疑応答されていました。



【ガイダンスの様子】

セミナー終了後の懇親会は、合格者の方々への祝賀もあり時を忘れて盛り上がりました。

懇親会は異業種間の交流がうまれ、とても良い機会だと感じています。

ご参加の皆様、ありがとうございました。